

教師と教育現場の チャレンジ支援のために

提 言

令和7年3月

富山経済同友会
教育問題委員会

1 はじめに

全世界の人々は 2020 年から感染拡大が始まった新型コロナウイルスに翻弄されてきました。3年を経て 2023 年 5 月に感染症の位置付けが「新型インフルエンザ等感染症（2 類相当）」から「5 類」へ変更となりました。それから 1 年以上が経過し、私たちの生活はある程度落ち着きを取り戻してきました。

一方で、この期間どんな行動制限が課せられても、変わらず役割を果たさなければならなかったのが「教育」であったと思います。

教育に携わる全ての皆さんが子どもたちのために力を注いでこられたものと敬意を表する次第です。

我々富山経済同友会も、この期間に子どもたちの活動が制限される中、できる範囲で学校に出向き「生きる力」「働くこと」といったテーマで語りかけてきました。

我々がこの 2 年間の活動を通して感じた教育現場の課題に対して、ぜひ皆でチャレンジすべきではないかと考え提言書としてまとめました。ご一読いただきたく存じます。

2 教育問題委員会の取組み

富山経済同友会では 1998 年から教育に関する委員会を立ち上げ、県内教育界全般の諸課題に対して取り組んできました。

これまでは主に教えられる側である子どもたちに対して会員による課外授業、インターンシップなど子どもたちの成長を支援する活動を長く継続してきています。

一方で、子どもたちの成長に一番影響を与えるであろう教える側である教師に対しても富山県教育委員会等が主催する教師向け研修などへの講師の派遣や、当会が企画する教師と企業人との交流、海外教育事情視察などを通じて、社会が求める人材育成を目指し行政と共に取り組んでおります。

私たち富山経済同友会教育問題委員会は、教師力向上を図ることにより、子どもたちがその時代を生き抜く「生きる力」をもって成長することを強く願い各種活動を行ってまいりました。

2023～2024 年における主な活動報告

第 10 回海外教育事情視察〔ドイツ・オーストリア・デンマーク〕※
訪問期間：令和 5 年 8 月 29 日(火)～9 月 6 日(水)
視 察 団：20 名（富山経済同友会 11 名、 教員 9 名 ）
目 的：教員としての視野を広げ教育実践に生かす 経済界と学校教育との交流や連携を図る

県教育委員会との意見交換会
○日 程：令和5年11月21日(火) 参加者：教育問題委員会委員20名、県教育委員会7名
○日 程：令和6年1月12日(金) 参加者：教育問題委員会 正副委員長・担当役員、県教育委員会9名
5 経済同友会教育担当委員会交流会
○日 程：令和5年9月19日(火) 場 所：愛知県（瀬戸市・名古屋市）【中部経済同友会主管】 参加者：各地経済同友会会員、 教員4名 内 容：「瀬戸市 にじの丘学園」視察、情報交換会
○日 程：令和6年10月31日(木)～11月1日(金) 場 所：埼玉県（さいたま市）【富山経済同友会主管】 参加者：各地経済同友会会員、 教員4名 内 容：「さいたま市立大宮中等教育学校」視察、情報交換会
教師と企業人との交流 ※
日 程：令和6年7月25日(木)～7月26日(金) 参加者：教育問題委員会委員10名、 教員40名
県外視察（高知県）※
日 程：令和6年11月13日(水)～11月15日(金) 参加者：教育問題委員会委員7名、富山県教育委員会3名（一部行程） 視 察 先：高知市立義務教育学校土佐山学舎 高知県立高知国際中学校・高等学校 香美市立大宮小学校
課外授業講師派遣 ※
○令和5年度 15校 20名 ○令和6年度 12校 16名
教育講演会講師等派遣 ※
○令和5年度 10回 26名 ○令和6年度 8回 20名

※ 詳細は添付資料1～4をご参照ください。

3 活動を通して得られた課題

教育を取り巻く環境が年々変化し、また社会全体もこれまでにない早い速度で日々変化をしている中で、子どもたちには、自ら問いを立てて答えを出す力が求められています。このように、教育現場では「キャリア教育」「探究活動」を重視する傾向にあり、それを実践する教師も新たな課題に自らチャレンジする

必要性を感じていると、活動を通して実感しました。(課題1：教師のチャレンジ)

一方で、県立高校教育振興検討会議の提言を踏まえ、「魅力ある高校教育を通じた『ウェルビーイング』の向上～学びたい、学んでよかったと思える高校づくり～」を基本理念とする県立高校の目指す姿が示されました。

人口減少、少子化が進む環境下において県立高校の募集定員減少に伴う学校再編が議論の中心にあるように感じますが、目指す姿実現に向けての教育現場のチャレンジであると考えます。(課題2：教育現場のチャレンジ)

教育行政に変化が起きようとしている今だからこそ、組織も人もチャレンジすることが必要であると考えます。また、広く市町村の教育行政にも目を向け変化を促していかなければならないと考えます。

4 課題解決の方向性

富山経済同友会教育問題委員会では、先に記載しました2つのチャレンジを支援しようとこれまで取り組み、課題解決に向けての方向性について検討しました。

① 教師のチャレンジ支援の方向性

子どもたちの「生きる力」の醸成には教師力の向上が不可欠です。令和5年8～9月の海外教育事情視察(ドイツ、オーストリア、デンマーク)の活動を終え、全10回にわたる同事業が一区切りを迎えました。その後、同事業に参加された全ての教師との交流会を企画し、多くの方々が昔を懐かしみ参加くださいました。その際に参加教師の方々から、視察後も交流を継続し自らの教師力向上につなげているという話を多くお聞きしました。

それを受け、長年にわたって実施してきた海外教育事情視察の後継事業として、令和6年7月に40名の教師の方々に参加をいただき「教師と企業人との交流」事業を行いました。

少しでも多くの教師の方々に日々変わる社会に対応する適応力を身に着けてもらうためにも、我々企業人との交流が有効ではないかと考えたからです。

企業人の話を聞くだけでなく、企業人と意見を交わすなどの時間を経て、自分たちが知らない、将来子どもたちを送り出す社会の事情を多少なりとも理解することができたという意見をいただきました。

教師力向上のためには、教師自身が企業人をはじめ学校関係者以外との交流を通して視野を広げ、相手から新しい気付きを得ること、また、子どもたちが将来関わろうとする社会についてもっと知る必要があるというのが企画した私たちと参加いただいた教師の皆さんとの共通意見と考えます。

また、子どもたちの成長のために必要な「教師力」とはどのようなものなのか、教育現場とともに整理し、教師と企業人とで共通認識をもつ必要があります。

② 教育現場のチャレンジ支援の方向性

富山県内には公立の中高一貫校はありません。どうしてなのか？そのような疑問を持って活動を開始し、富山県や各自治体が掲げる「特色ある学校づくり」とは何が適切なのだろうか、と検討してきました。また、新田富山県知事も「中高一貫校の新設の検討」と「県内教育機関の国際バカロレア認定取得の支援」を公約に掲げられました。

令和6年1月には、令和元年4月に開校した埼玉県内初の中等教育学校である「さいたま市立大宮国際中等教育学校」の校長 関田晃氏を講師としてお招きし、「よりよい世界を築くことに貢献する地球人の育成を目指して～県内唯一の中等教育学校、関東唯一の公立IB（MYP+DP）校の取組～」と題してご講演いただきました。

その後11月に大宮国際中等教育学校に伺い、実際の教育現場を視察しました。また、高知県では、国際バカロレア機構の認定を受けた県立の中高一貫教育校である高知県立高知国際中学校・高等学校、公立小学校で初の国際バカロレア認定校となった香美市立大宮小学校、そして中山間地域に根差した探究活動とICT教育に地域一体となって取り組む高知市立義務教育学校土佐山学舎を訪問しました。

教室には私たちが体験してきた、教師と黒板を見てノートに書きこむ授業風景ではなく、仲間と話し合い、自分で探し、地域社会や地域の方々に学ぶ光景がありました。

そして何より、5年後、10年後、そしてその先にあるまだ見ぬ世界に向けて、生きる力を身につけ成長する子どもたちのために自らの信念をもってチャレンジする教育者の姿がありました。

また中高一貫校では、6年間の継続した中等教育により系統的、継続的な学習活動が展開されており、子どもたちが自分の未来を見据えた時間を過ごすことができるように感じます。

加えて、国際バカロレアの認定を受けた教育カリキュラムでは、子どもたちが自ら情報を収集し、個人、時にはグループで協力してとことん考え、答えを導き出す様子が伺え、その姿は富山県が目指す「探究学習とICT教育」にマッチしていると思います。

県がこれらの検討を明言されているのは承知していますが、子どもたちの選択肢を広げるために、ぜひとも県内にもこのような学校が必要だと考えます。

5 提言

「教師力向上」のために、教育現場や経済界各種団体、企業が連携し、私立学校教師を含む県内の教師が、学校関係者以外と交流できる機会を創出すべきであります。

①企業・各種団体との交流研修の計画的な実施

働き方改革などの課題もあり、自主的な参加を求めても負担に感じられる方もいらっしゃると思います。教師の皆さんが計画的に参加できるように、年間教員研修計画に取り入れるなどして、極力負担のないように配慮いただきたい。

②教師の企業・各種団体へのインターンシップの実施

地域にどのような会社があり、どのような仕事をしているのか、どのような人材が求められているのか等を知ることは、教師が自信をもって子どもたちを社会に送り出すにあたっても重要なことと考えます。県が進めているキャリア教育の推進を図るうえでも、教師が地域企業の仕事現場を身をもって体験できる機会を増やしていただきたい。

③「教師力向上支援事業」の拡充

現行の制度は、3年以内に同事業による支援を受けた者、管理職等は制度の対象外であるとともに、私立学校の教師は同事業の支援を受けることができません。教師力向上に向けて、より多くの教師が自ら挑戦しやすくなるよう、柔軟な運用をしていただきたい。

「特色ある教育現場」として中高一貫校、国際バカロレア認定校の設立を実施すべきであります。

①子どもの特性や興味・関心によって進路を選択できる環境づくり

特色ある学校を設置して選択肢を増やすとともに、偏差値で進路を選択するのではなく、個人の特性や興味・関心によって進路を選択できるように指導する教育者の育成をしていただきたい。

②一日も早い実現

県立高校再編が検討されていますが、市町村（小中学校）の教育行政にも大きく影響を及ぼすため、双方にとって望ましい形となるよう、市町村とも密に連携し、一日も早い実現に向けて早急に検討を進めていただきたい。

6 終わりに

このたび、「新時代とやまハイスクール構想（仮称）」基本方針が発表されました。高校を、社会を知る場として位置づけ、「新時代に適応し未来を拓く人材育成」を将来の県立高校の基本目標に掲げています。富山県教育委員会では、昨年6月以来、4つの学区で「地域の教育を考えるワークショップ」を開催されてきました。そこには、富山経済同友会会員も参加し、県立高校と企業の地域連携などの提案も行いながら議論を重ねてきました。こうして取りまとめられた基本方針をもとに、将来を見据えたこの構想をぜひとも実現してほしいと思います。

第13次教育問題委員会は2年間の活動において、教育現場を訪れ、また多くの教師の皆さまと接し、社会の変化に対応するために、自らを磨き、チャレンジする姿を見てきました。

一方で、子どもたちは私たちが考える以上に時代に適応し、未来に向けて早い速度で歩いていくでしょう。

私たちは引き続き、子どもたちの「生きる力」を高めるために、また富山県が目指す教育を通したウェルビーイングの向上のために、企業人ができることに取り組んでいきます。

今回の提言が、現在、富山県の教育現場がチャレンジしようとしている取組みの背中を押すことができるものになれば幸いです。

結びになりますが、意見交換や事業推進のためにご助言をいただいた富山県教育委員会の皆さまと、手探りで開催した「教師と企業人の交流」事業に積極的に参加いただいた教師の皆さまに感謝を申し上げ終わりにいたします。

第 10 回 海外教育事情視察

1 目的（テーマ）

- (1) 富山県の現役教員がドイツ連邦共和国、オーストリア共和国及びデンマーク王国における教育や芸術、歴史、文化、社会事情などを視察し、意見交換することにより、教員としての視野を広げ、今後の教育実践に役立ててもらおうとともに、人間力・教育力を向上させ、富山県の教育をリードする中学的教員となるよう育成を図る。
- (2) 企業経営者である当会会員も視察に参加することにより、教員と問題意識を共有し、経済界と学校教育との交流や連携を図る。

2 主催 富山経済同友会

3 後援 富山県教育委員会

4 視察期間 令和 5 年 8 月 29 日(火)から 9 月 6 日(水)までの 9 日間

5 訪問国 ドイツ連邦共和国・オーストリア共和国・デンマーク王国

6 視察団 20 名（当会会員等 10 名、教員 9 名、事務局 1 名）

7 参加者感想

- ・企業の経営理念・人材育成の考え方など社会へ送り出す人材を育てる立場として学ぶことが多かった。
- ・同行した先生方の姿に刺激を受け、もっと成長したいと感じた。
- ・たくさんの方々の生き方や考え方に触れることができた。
- ・多くの方と接することで「自分は狭い世界で過ごしている」と気づかされた。
- ・自らの視野を広げ、視点を変えるきっかけとなった。
- ・参加者との交流は今後の自身の教育観に大きな影響を受けた。
- ・企業人の「人を育てる」という考え方が、同じ使命を持つものとして参考になった。
- ・経験豊かな企業人との交流はこれまでと違う学びを得ることができた。
- ・非日常的な付き合いの中で、非日常的な経験をすることができ有意義な時間であった。



教師と企業人との交流

1 目的

教師と企業人とが交流することで、そこから得られる「気付き」を共有し、互いの視野を広げ、「人間力」を持った子どもたちの育成につなげることを目的とする。

2 概要

<参加人数>

富山県内の公立学校教員 40名
富山経済同友会教育問題委員会委員 10名

<日 程>

令和6年7月25日(木)～26日(金)

<場 所>

株式会社インテック大山研修センター
(富山市東黒牧140-1)



<内 容>

1 日 目	9:00	開校式・オリエンテーション 挨拶 日程説明	富山経済同友会教育問題委員会 土屋 誠 委員長 株式会社MGG 代表取締役社長 牧田 和樹 氏 YKK株式会社 副社長 黒部事業所長 小林 聖子 氏 株式会社ユークレナ 代表取締役社長 出雲 充 氏
	9:30	講演① 「人間力について考えよう！」	
	10:30	ディスカッション① 講演を聞いて気付いたこと、 感じたこと等の共有	
	11:45	昼食・休憩	
	13:00	講演② 「自分らしく働く」	
	14:00	ディスカッション② 講演を聞いて気付いたこと、 感じたこと等の共有	
	15:00	ディスカッション③ テーマ(組織運営)について	
	16:00	講演③ 「僕はミドリムシで世界を 救うことに決めました。」 (講演終了)	
	17:30	夕食	
	18:30	情報交換会	
2 日 目	8:00	朝食	富山経済同友会 牧田 和樹 代表幹事
	9:00	アクティビティ研修	
	12:00	昼食・休憩	
	13:00	アクティビティ研修	
	16:00	宣言・閉校式 挨拶	
17:00	現地解散		

3 参加者感想・今後期待する内容 等 (抜粋)

- ・教師の人間力を高めることは、学校で学ぶ意義とつながっているように感じた。
- ・学級経営や生徒指導の場面で活かせる視点を感じた。
- ・様々な校種の先生方や同友会の方、年齢も立場も異なる方々の意見が聞けて興味深かった。
- ・若い先生方が考えていることを知ることができ、貴重な機会となった。
- ・コミュニケーションの大切さを感じた。
- ・今回のような経験に基づいたお話を聴かせていただけるのはとてもありがたい。
- ・もっと企業人の方々と話をして、世の中のニーズと高校生たちを結びつける道を探していきたい。
- ・企業が求める高校生像について聞きたい。
- ・普段どのように人脈作りを行っているのかを知りたい。
- ・企業で実践している人材教育の手法を学びたい。
- ・経営者が見ている10年後の未来と、それに向けての学校としての在り方を考えてみたい。
- ・経営者だけでなく、その企業で働く社員の方にも参加いただいても良いのではないかな。

高知視察

―特色ある学校づくりの先進的取組みを学ぶ―

1 目的

富山県と同様に人口減少が進む中、公立学校として特色ある学校づくりを進める高知県内の先進事例を学ぶ

2 日程

令和6年11月13日(水)～15日(金)

3 参加者

教育問題委員会委員 7名

4 視察先

- ① 高知市立義務教育学校土佐山学舎
高知市街地から車で30分ほどの中山間地域における交流・定住人口の拡大に向けて、魅力ある学校として設置された。
・土佐山学(生活科・総合的な学習の時間)
・外国語教育を核とするキャリア教育
・ICT利活用



- ② 高知県立高知国際中学校・高等学校
高知市内の学校が統合してできた新しい公立中高一貫教育校。国際バカロレア機構のMYPとDPのプログラムを採用。探求型学習の推進、英語教育の充実、キャリア教育の推進、豊かな人間性の形成を掲げる。



- ③ 香美市立大宮小学校
「郷土を愛し、探究的に学び、未来を創る人づくり」を基本理念におき、香美市が掲げる市民一人一人が主人公となる「よってたかって教育」のもと運営を進めている。
・公立小学校初の国際バカロレア認定校
・保育所から大学まで多様な学びの場を各種団体と一体となって進めている。



令和5年度「課外授業講師派遣」

(※敬称略。講師の役職等は派遣当時のもの)

回	開催日	学 校	講 師	演 題
1	R5. 6. 7(水)	高岡第一高等学校	十全化学㈱ 取締役社長 廣田 大輔	「これからの時代を生き抜く力」
2	R5. 6. 20(火)	高岡市立芳野中学校	㈱牧田組 取締役社長 牧田 和樹	「働くこと」
3	R5. 7. 5(水)	砺波市立般若中学校	㈱チューリップテレビ 取締役社長 山野 昌道	「人生を幸せにする3つのコツ」
4	R5. 8. 4(金)	高岡市立牧野中学校	㈱牧田組 取締役社長 牧田 和樹	「働くこと」
5	R5. 8. 25(金)	富山県立砺波高等学校	㈱みずほ銀行 富山支店長 尾崎 浩二	「銀行の仕事について」
			三菱商事㈱ 北陸支店長 三原 克久	「商社の仕事とは」
6	R5. 9. 8(金)	富山県立立善高等学校	大高建設㈱ 取締役社長 大橋 聡司	「働くこと、よりよく生きること」
			㈱ステップアップ 代表取締役 川合 紀子	「君たちはどう生きたいか」
			㈱アイベック 代表取締役 東出 悦子	「自由に楽しく幸せに生きる」
			フリーズバイオペレーション3号棟 (ホテルグランドプラス富山) 執行役 益田 貴司	「今後のホテル業と地域への貢献」
		日本海電業㈱ 代表取締役 若林 健嗣	「デジタルツインから考える『自分』を生きること」	
7	R5. 9. 15(金)	富山県立雄峰高等学校	㈱牧田組 取締役社長 牧田 和樹	「よりよく生きる」
8	R5. 9. 23(土)	富山県立魚津高等学校	㈱ユニオンランチ 取締役社長 遊道 義則	「生きるということ～人生って何だろう～」
9	R5. 11. 2(水)	魚津市立西部中学校	アイティオ㈱ 取締役社長 伊東 潤一郎	「働く事と幸せに生きる事」
10	R5. 11. 8(水)	片山学園中学校	㈱三四五建築研究所 代表取締役 稲葉 伸一	「楽しく生きる」
11	R5. 11. 24(金)	小矢部市立壺谷中学校	㈱就活ラジオ 代表取締役 碓井 一平	「どんな大人にも、社会にも負けない人間を目指して」
12	R5. 12. 14(水)	富山県立富山高等支援学校	㈱MG G 取締役社長 牧田 和樹	「働くこと」
13	R5. 12. 20(水)	富山市立速星中学校	㈱富山市民プラザ 代表取締役 京田 憲明	「人生で大切なこと ～豊かに生きる～」
14	R6. 2. 5(月)	富山大学教育学部附属小学校	㈱MG G 取締役社長 牧田 和樹	「よりよく生きる」
15	R6. 2. 8(水)	高岡市立南星中学校	NiX JAPAN㈱ 取締役社長 市森 友明	「学びの目的を知って、学ぶ努力を楽しもう」

令和5年度「教育講演会等講師派遣」

回	開催日	団体等	講 師	演 題
1	R5. 5. 17(水)	キャリア教育推進委員会	大高建設㈱ 取締役社長 大橋 聡司	「メタバースで考える教育の未来」
2	R5. 6. 20(火)	キャリア教育指導者養成研修 (第1回)	㈱ミライノ交通観光ラボ 代表取締役 稲田 祐治	「社会に開かれた教育課程 横の連携を意識したキャリア教育」
			㈱スカイインテック 取締役社長 高瀬 幸忠	
			日本海ガス㈱ 取締役社長 土屋 誠	
			とうざわ印刷工業㈱ 取締役社長 東澤 善樹	
			富美菊酒造㈱ 代表取締役 羽根 敬喜	
			㈱フクール 代表取締役 福崎 秀樹	
3	R5. 6. 29(水)	富山市中堅教諭等資質向上研修 (第1回)	とうざわ印刷工業㈱ 取締役社長 東澤 善樹	「組織のリーダーとは」「若手の育成」
			富美菊酒造㈱ 代表取締役 羽根 敬喜	
			㈱クルサー 代表取締役 牧 真奈美	
			㈱ユニオンランチ 取締役社長 遊道 義則	
	R5. 7. 3(月)	富山県商業教育振興会第73回定期総会講演会	㈱三四五建築研究所 代表取締役 稲葉 伸一	「楽しく生きる」
4	R5. 7. 27(水)	小・中・県立学校3年次校長研修会	日本海ガス㈱ 取締役社長 土屋 誠	「働き方改革誰が進める？」
5	R5. 8. 22(火)	キャリア教育指導者養成研修 (第2回)	㈱ミライノ交通観光ラボ 代表取締役 稲田 祐治	「社会に開かれた教育課程 横の連携を意識したキャリア教育」
			㈱スカイインテック 取締役社長 高瀬 幸忠	
			日本海ガス㈱ 取締役社長 土屋 誠	
			とうざわ印刷工業㈱ 取締役社長 東澤 善樹	
			富美菊酒造㈱ 代表取締役 羽根 敬喜	
			㈱フクール 代表取締役 福崎 秀樹	
7	R5. 8. 22(火)	富山市中堅教諭等資質向上研修 (第2回)	アイティオ㈱ 取締役社長 伊東 潤一郎	「組織のリーダーとは」「若手の育成」
			㈱ワプラス 代表取締役 村上 宏康	
			㈱Snow Fox Japan 代表取締役 茂住 昌子	
			㈱チューリップテレビ 取締役社長 山野 昌道	
8	R5. 8. 28(月)	県立学校校長研修会	㈱ミライノ交通観光ラボ 代表取締役 稲田 祐治	「組織におけるこれからの働き方」
9	R5. 11. 9(水)	富山県高等学校教頭会研究発表会	大高建設㈱ 取締役社長 大橋 聡司	「グローバル社会に必要な人材とは『ローカルな会社社長の視点から』」
10	R5. 11. 22(水)	富山県中堅教諭等資質向上研修	㈱ミライノ交通観光ラボ 代表取締役 稲田 祐治	「ミドルリーダーとしての自覚、役割～働きやすい環境づくり～」

令和6年度「課外授業講師派遣」

(※敬称略。講師の役職等は派遣当時のもの)

回	開催日	学 校	講 師	演 題	
1	R6. 5. 1(休)	富山県立新湊高等学校	1・2学年(76名)	㈱チューリップテレビ 取締役社長 山野 昌道	「自分の夢の見つけ方」
2	R6. 6. 7(金)	砺波市立般若中学校	2学年(38名)	㈱スギノマシン 代表取締役副社長 杉野 岳	「働くということ～皆さんに聞いて欲しい事考えて欲しい事～」
3	R6. 6. 13(休)	小矢部市立津沢小学校	6学年(40名)	㈱スタジオシユワリ 代表取締役 種昂 哲	「初めて会社を立ち上げるみなさんへ」
4	R6. 6. 25(火)	高岡市立牧野中学校	2学年(91名)	㈱MGG 取締役社長 牧田 和樹	「働くこと」
5	R6. 8. 23(金)	富山県立富山北部高等学校	1学年(218名)	NiX JAPAN㈱ 取締役社長 市森 友明	「企業人にさく」
				大高建設㈱ 取締役社長 大橋 聡司	
				とうざわ印刷工業㈱ 取締役社長 東澤 善樹	
				㈱ネクストリー 代表取締役 藤井 喜大	
6	R6. 8. 27(火)	富山県立砺波高等学校	1学年	㈱みずほ銀行 富山支店長 小山 輝行	「高校1年での転機と決断」
				三菱商事㈱ 北陸支店長 三原 克久	「総合会社とは」
7	R6. 9. 12(休)	富山県立雄峰高等学校	3年次(98名)	㈱ユニオンランチ 取締役社長 遊道 義則	「生きるということ～人生って何だろう～」
8	R6. 11. 15(金)	小矢部市立壺谷中学校	全学年(93名)、保護者(46名)	片山商事㈱ 代表取締役 片山 浩一	「働くことの心構え」
9	R6. 11. 20(休)	舟橋村立舟橋中学校	1学年(35名)	㈱スカイインテック 顧問 高瀬 幸忠	「私の経験と働くということ」
10	R6. 11. 29(金)	富山県立速星中学校	1学年(293名)	㈱フクール 代表取締役 福崎 秀樹	「AI時代に生きるチカラを考える」
11	R7. 1. 20(月)	黒部市立石田小学校	6学年(26名)	横山冷菓㈱ 代表取締役 横山 栄一郎	「アイス屋のおやじが伝えたいこと」
12	R7. 2. 28(金)	砺波市立庄川中学校	3学年(34名)	㈱就活ラジオ 代表取締役 碓井 一平	「どんな社会にも負けない人生をめざして」

令和6年度「教育講演会等講師派遣」

回	開催日	団 体 等	講 師	演 題 等
1	R6. 6. 11(火)	キャリア教育指導者養成研修(第1回)	㈱三四五建築研究所 代表取締役 稲葉 伸一	「社会に開かれた教育課程 横の連携を意識したキャリア教育」
			㈱ステップアップ 代表取締役 川合 紀子	
			㈱北陸銀行 執行役員 富山地区事業部本部長 黒川 央	
			㈱寺島コンサルタント 代表取締役 寺島 雅峰	
			とうざわ印刷工業㈱ 取締役社長 東澤 善樹	
			㈱クルサー 代表取締役 牧 真奈美	
2	R6. 6. 25(火)	富山市中堅教諭等資質向上研修(第1回)	㈱宝来社 代表取締役 荒井 洋平	「社会に学ぶ研修会」
			㈱エムダイヤ 代表取締役 森 弘吉	
3	R6. 7. 29(月)	富山市中堅教諭等資質向上研修(第2回)	フリースペイオペレーション3号棟(ホテルグランプラス富山) 執行役員 益田 貴司	「社会に学ぶ研修会」
			富山エフエム放送㈱ 取締役社長 吉村 直樹	
4	R6. 7. 29(月)	小・中・県立学校3年次校長研修会	㈱スカイインテック 顧問 高瀬 幸忠	「企業経営と学校経営」
5	R6. 8. 20(火)	キャリア教育指導者養成研修(第2回)	㈱三四五建築研究所 代表取締役 稲葉 伸一	「社会に開かれた教育課程 横の連携を意識したキャリア教育」
			㈱ステップアップ 代表取締役 川合 紀子	
			㈱北陸銀行 常務執行役員 富山地区事業部本部長 黒川 央	
			㈱寺島コンサルタント 代表取締役 寺島 雅峰	
			富美菊酒造㈱ 代表取締役 羽根 敬喜	
			㈱クルサー 代表取締役 牧 真奈美	
6	R6. 8. 28(休)	中・高進路指導研修会	㈱タムラ設計. 代表取締役 田村 元宏	「未来を担う高校生に伝えたいこと」
7	R6. 11. 6(休)	富山県中学校長会研究大会	アイティオ㈱ 代表取締役社長 伊東 潤一郎	「ものづくり企業の人づくりと組織づくり」
8	R6. 11. 20(休)	富山県中等教諭等資質向上研修	㈱ミライノ交通観光ラボ 代表取締役 稲田 祐治	「ミドルリーダーとしての自覚、役割～働きやすい環境づくり～」

教育問題委員会

(2025年3月現在)

	氏名	会社名	役職
委員長	土屋 誠	日本海ガス(株)	取締役会長
副委員長	稲葉 伸一	(株)三四五建築研究所	代表
副委員長	尾山 謙二郎	マンパワーセキュリティ(株)	代表取締役
副委員長	寺島 雅峰	(株)寺島コンサルタント	代表取締役
副委員長	東澤 善樹	とうざわ印刷工芸(株)	代表取締役社長
副委員長	羽根 敬喜	富美菊酒造(株)	代表取締役
副委員長	福崎 秀樹	(株)フクール	代表取締役
副委員長	牧 真奈美	(株)クルサー	代表取締役
	四十物 直之	(株)四十物昆布	取締役会長
	青池 浩生	(学)青池学園	理事長
	青山 和也	(株)エクシーズ	代表取締役
	荒井 公浩	(学)荒井学園	理事長
	市森 友明	NiX JAPAN(株)	代表取締役社長
	伊東 潤一郎	アイティオ(株)	代表取締役社長
	浦山 哲郎	(学)浦山学園	理事長
	大橋 聡司	大高建設(株)	代表取締役社長
	荻布 原駆郎	荻布倉庫(株)	代表取締役
	開上 真樹	(株)北陸博報堂	代表取締役
	金尾 雅行	富山港湾運送(株)	代表取締役社長
	川合 紀子	(有)ステップアップ	代表取締役
	久郷 慎治	(株)久郷一樹園	代表取締役
	黒川 央	(株)北陸銀行	常務執行役員 富山地区事業部本部長
	黒田 昭	(株)三田商会	相談役
	高野 治	(株)リョーシン	取締役社長
	齋藤 滋	富山大学	学長
	島 竜彦	(株)SHIMARS	取締役会長
	島田 好美	(株)島田商店	会長
	下村 貴之	東京海上日動火災保険(株)	富山支店長
	杉野 岳	(株)スギノマシン	代表取締役副社長
	高木 奈津美	ファミリーユ(株)	代表取締役
	高瀬 幸忠	(株)スカイインテック	顧問
	高野 二郎	タカノ建設(株)	取締役社長
	谷川 正人	コーセル(株)	相談役
	田村 元宏	(株)タムラ設計	代表取締役
	長 高英	北電産業(株)	代表取締役社長
	辻 秀樹	オリックス(株)	富山支店長
	辻井 益雄	(株)富花	取締役会長
	中井 淳	東亜薬品(株)	代表取締役
	丹羽 誠	(有)ライフブラン研究所	代表取締役
	野田 強	第一生命保険(株)	富山支社長
	林 政義	北陸電力(株)	常務執行役員
	藤井 喜大	(株)ネクストリー	代表取締役
	眞門 聡明	(株)インテック	代表取締役副社長執行役員
	松下 光信	(株)松下工業	代表取締役
	松田 浩樹	(株)マイナビ	富山支社長
	村本 幸雄	ムラモトユニフォーム(株)	代表取締役
	森 弘吉	(株)エムダイヤ	代表取締役
	山田 仁史	日本海建興(株)	代表取締役社長
	山田 雅人	成政酒造(株)	取締役
	遊道 義則	(株)ユニオンランチ	取締役社長
	横田 龍大	医療法人財団博仁会横田記念病院	理事長
	横山 栄一郎	横山冷菓(株)	代表取締役
	吉田 修一	みずほ証券(株)	富山支店長
	吉田 登	北登精機(株)	代表取締役
	若林 啓介	紙ぶらす(株)	取締役社長
	若林 健嗣	日本海電業(株)	代表取締役
担当役員	稲田 祐治	(株)ミライノ交通観光ラボ	代表取締役

富山経済同友会

〒930-0856 富山市牛島新町5-5 インテックビル4階

TEL (076) 444-0660 /FAX (076) 444-0661

ホームページ <https://www.doyukai.org/>